

海と暮らす

恵みを、時に災害をもたらす海と
私たちはどう向き合うのか？

**2017年5月28日
13:30 ~ 16:00**

東北大学青葉山コモンズ

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉
仙台市地下鉄東西線「青葉山」駅下車 徒歩5分

＜申し込み先＞東北大学 東北マリンサイエンスウェブサイト
<http://www.i-teams.jp/townmeeting>
2017年5月19日締切

東日本大震災で攪乱された沿岸から沖合にかけての生態系を継続して調査し、その成果を被災地の復興に役立てようという目的で、東北マリンサイエンス拠点形成事業は始まりました。それから6年、調査を通じて三陸の海の回復状況が見えてきました。私たちにとって「海とともに生きる」ことはどういうことなのでしょう、市民の皆様と共に考えてみませんか？

…話題提供…

◆東北マリンサイエンス拠点形成事業は、何を狙っているのか？
木島明博（東北マリンサイエンス代表）

◆東北マリンサイエンス拠点形成事業で何がわかったのか？
何を伝えたいのか？

伊藤絹子（東北大学大学院農学研究科）

◆震災の現状、復興を科学者は住民、行政にどう伝えればいいのか？

佐藤翔輔（東北大学災害科学国際研究所）

主催： 東北マリンサイエンス拠点形成事業（広報委員会）

共催： 東北大学災害科学国際研究所

＜問い合わせ先＞

東北マリンサイエンス拠点形成事業 女川事務室

東北マリンサイエンス拠点形成事業 広報委員会

担当：小出智佳子 (agr-marin@grp.tohoku.ac.jp)

担当：北里 洋 (hkitaz0@kaiyodai.ac.jp)